

# 令和4年度 学校経営計画及び学校評価

## 1. めざす学校像

<p>一人ひとりが自分らしい生き方で社会に貢献できるよう、豊かな人間性と確かな学力が育つ学校をめざします。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 建学の精神「報恩感謝」を大切にし、教育理念「教育の目的は人をつくること」に基づく教育を実践することにより、人間的な成長・発展を実現し人格の完成をめざします。</li> <li>2. 生活・学習の両面において基礎・基本を徹底的に行い、社会的自立にむけ、そのため必要な基盤となる能力や態度を育成します。</li> <li>3. 一人ひとりが持つ可能性を開花させるため、主体的に生きようとする態度と能力を養います。</li> <li>4. 地域とのつながり強化し、安全で安心な学校をつくります。</li> </ol>
---

## 2. 中期的目標

<p>1. 建学の精神「報恩感謝」を土台に、独自性の高い教育を開発、実践します。</p> <p>(1) 選び抜いた内容を実践し、改良を加えます。 指導要領の内容と、独自に開発、改良を加えた学習を組み合わせ実践します。 定期的に学習内容を公開し、教育関係者の意見をとりにいれて教育内容を精選、改善します。</p> <p>(2) 学校行事の見直し 子どもの成長の糧となるもの、時代の要請に答えるべき行事を見極め、「何をこそ学ばせるべきか」を熟慮探求します。 子ども自身の活動を重んじ、実行を助け、その結果を常に振り返るように指導します。</p> <p>2. 基礎学力と基本的生活習慣の育成</p> <p>(1) 生活習慣をしつける方策と実行時期の熟慮と、集団の中で育む方法を探求 「何を」「どの機会に」しつけるかを熟慮し、規範を示すことにより、生涯にわたる自律の意識を育む指導を行います。 意識的に縦割り集団を組織したり、グループ活動を取り入れたりして「みんなでいっしょに」「高学年を敬う」「低学年を育む」を常に考えさせることで、自律の意識を育みます。</p> <p>(2) 基礎学力の徹底 ひとりひとりの興味関心を大切にし、学習に自信を持たせるように配慮し、意欲的態度や実行力の基礎を養います。</p> <p>3. 主体的な生き方の尊重 一人ひとりの興味関心を大切にし、だれにも自信を持たせる教育を行います。 道徳教育、人権教育を軸に、互いの個性を尊重しあえる土壌をつくります。</p> <p>4 教育環境の充実 学校の美化に全校で取り組みます。</p> <p>5. 安心、安全な学校づくり 幼稚園や中学校とのつながりを密にし、相互の教育内容を充実させることにより、長期にわたる同じ方向性を持った指導を行います。 自他の命を尊び、安全な暮らしを希求する態度を育てるとともに、緊急時の対応を検討することにより、校内の安全性を高めます。</p> <p>6 内部連携の強化と募集の充実 幼稚園・中学校との連携を強化し、募集活動を充実します。</p>
--

自己評価アンケートの結果と分析 [令和4年12月実施分]	学校協議会からの意見 [令和5年2月実施分]
<p>評価項目： 教育活動全般及び学校に対する全体的評価を行った 評価方法： 各項目について、5段階評価を行った 5:とてもそう思う 4:どちらかといえばそう思う 3:普通 2:あまり思わない 1:まったく思わない</p> <p>○児童・保護者アンケート集計・平均(カッコ内は児童の平均)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校に入学させて(して)よかった…4.6(4.7)</li> <li>・学校は学力向上に力を入れている…4.1(4.7)</li> <li>・指導方法は工夫され、分かりやすい…4.2(4.5)</li> <li>・主体性、自主性を育む環境が整っている…4.4(4.5)</li> <li>・まじめに授業を受けている…4.2(4.2)</li> <li>・行事は楽しく充実している…4.6(4.8)</li> <li>・学校のきまりはいいきまりだ…4.3(4.4)</li> <li>・きまりの指導に力を入れている…4.1(4.5)</li> <li>・きまりやマナーを守っている…3.9(4.2)</li> <li>・児童会活動や係り活動をがんばっている…4.5(4.7)</li> <li>・友だちとうまくいっている…4.2(4.5)</li> <li>・先生と子どもはうまくいっている…4.5(4.7)</li> <li>・ケンカいじめに対応する…4.3(4.6)</li> <li>・制服、ランドセル、体操服が気に入っている…4.1(4.3)</li> <li>・校内の習い事や同好会は充実している…4.1(4.2)</li> <li>・校内の施設、設備は充実している…4.1(4.3)</li> <li>・教室や学校の中はいつもきれいになっている…4.2(4.0)</li> <li>・成績のお知らせやお手紙をきちんと出している…4.0(4.7)</li> </ul> <p>教職員の自己評価・平均値 個性尊重・実行から学べ・明朗と自主の教育方針に基づいて、具体化を図っている…4.4 十分な検討のもと、年間教育計画を立てている…4.2 教務主任を中心として、機能的に運営されている…4.2 全職員研究会・学年会議を、有効に機能させている…4.2 学校経営の財務状況に基づき、健全な運営を行っている…3.9 学校HPの公開掲示板や通信等で、教育活動の情報提供に努めている…4.3</p>	<p>学校協議会からの意見 [令和5年2月3日実施]</p> <p>「基礎学力の徹底」 ・保護者の「基礎学力向上」の項目は、評価がやや下がっているが、この数値範囲内であれば、ほぼ前年と同評価といえ目標値に達している。 ・今年度「基礎学力の向上」や「教員の教え方」の評価がやや下がっているが、コロナ感染対策の影響で、この3年間の総合的な評価として反映されていると思われる。学園小ならではの特色ある学習や活動が実施しにくかったこともあり、教員の努力が伝わりにくかったことは残念である。 ・保護者のアンケートから「教え方が工夫されている」の評価項目がやや下がっているが、児童の「先生はみんなをかしくくするためがんばっている」の評価は上がっている。今後は従来の授業形態に戻りつつ、学園小らしい工夫した授業を再開し、より特色ある学習や活動でより上向きに改善していくと推察する。 ・評価は、個々近年で比較するよりも、5～10年前と比べて評価の方が全体像として描きやすく、今後検討する方がよい。</p> <p>「学校行事の見直し」 ・児童、保護者ともに行事の評価は高評価である。今年度は、半分程度しか行事が戻ってきていなかったため、なかなか純粋に評価はできにくい状況であったが、今後さらに充実した行事の実施を期待できる。 ・音楽会のサーティホールは保護者にも高い評価を得ている。また、5年生で新しくハーベストステイが加わり、6年生でも修学旅行に民泊などを取り入れていく予定であるなど改良が見られる点は、新たな面が加わり、児童や保護者の期待値が上がっており評価できる。</p>

# 令和4年度 学校経営計画及び学校評価

緊急時のマニュアル整備や防災訓練など、安全対策をとっている…4.4  
教育活動がしやすく、子どもにとっても好ましい環境が整っている…3.8  
職員の適切な勤務実態と健康管理につとめている…3.2  
分かりやすい授業の実践に努めている…4.5  
学習意欲向上に努めている…4.6  
学力向上に努めている…4.5  
社会的マナー・モラルの定着に努めている…4.2  
思いやりのある態度育成に努めている…4.5  
保護者との連携に努めている…4.3  
人権意識向上に努めている…4.2  
自然環境保全の意識向上に努めている…3.8  
衛生的で健康な生活の知識技能の指導に努めている…4.0  
防災や安全に関する指導に努めている…4.2  
主体性を重視した指導に努めている…4.4  
読書指導に努めている…4.0  
挨拶など礼儀を重んじる態度の定着に努めている…4.4  
時間を守るなど、規則を守る態度の定着に努めている…4.3  
物を大切に作る心や、美化意識の向上に努めている…4.1  
学習の遅れている児童への支援を行っている…4.1  
問題を抱えた児童や保護者への相談活動に努めている…4.3  
きめ細かな進路相談に努めている…3.9  
活発に、教員間で教育生活指導について、意見交換している…4.1  
計画的に、教職員対象の研修が行われている…4.4  
個人の研究・研修を支援する制度が整備されている…3.4  
外部の研修会などで得た情報を、校内で共有しやすくなっている…3.9

自己評価の分析

○ 学校運営に関する評価は前年からポイントが下がったものが5項目、上がったものが1項目である。

・学校運営に関する評価については当面の目標である4.0以上の評価が設問9項目中の6項目ある。しかし、まだまだ教育方針や学校運営を教職員全員が良く理解し、教育を実践するよう自己評価の分析

○ 学校運営に関する評価は前年からポイントが下がったものが5項目、上がったものが1項目である。

・学校運営に関する評価については当面の目標である4.0以上の評価が設問9項目中の6項目ある。しかし、まだまだ教育方針や学校運営を教職員全員が良く理解し、教育を実践するよう努力が必要である。

○ 教育内容に関する項目は、ほぼ前年と同様の4.0以上の評価である。 10.11.12.20.21.25  
また、生活指導について(時間遵守・挨拶と礼儀)も4.0以上の評価である。13.14.22.23

・保護者、児童のアンケートと著しくポイントがずれた項目はない。学習に関する評価は、保護者、児童、教職員ともおおむね満足していることを示している。しかし、今年度は、新型コロナウイルスの影響で満足していただけないところがたくさんあったかと考えられる。次年度はより一層改善を加え指導力向上に努め、行事の内容改善にも取り組みたい。

○ 教員研修に関する評価のうち、「計画的な教職員研修」「外部研修内容の共有」の項目について評価が上がった。しかし、「研究・研修の支援制度」「教育生活指導の意見交換」の項目については、下がった。

・教員研修に関する評価については、「計画的な教職員研修」の項目については評価がよく、その改善に努力した成果が見える。今後より一層の強化に努め、教員の資質向上に努める。

・世の中の流れとは違い、学園小学校は特色ある行事の路線を進めている。その点が高評価につながっている。しかし、行事のめあてや目標をしっかりと保護者や児童に伝えることが大切で重要である。何を何のために子どもたちが学んで、どういうことをコンセプトに実行しているのかを、きめ細やかに児童や保護者に説明した方が、今後の行事や体験学習をさらに充実させたプログラムとして導きやすいと推察される。

・学園小学校は縦割り活動を重視している。体育会では5、6年生合同のダンスであったが、そのめあてが保護者には理解しにくかった。最終学年の6年生は小学校生活の集大成であり、縦割りにこだわらず、単学年での発表を検討するほうが、保護者のニーズに適しているのではないかと考えられるので検討を望まれる。

「規律遵守の意識レベル向上」

・「規律遵守の意識レベル向上」の項目において、保護者の評価が下がっており、目標に達していないのは、残念である。年々その意識が、教員や児童共に薄くなってきていると予想される。すぐに改善すべき点であり、集団教育で培われる心の教育をしっかりと指導していただきたい。

・以前は低学年時から、教室に「みんなができるようになること表」を掲示し、教員が児童にしっかりと指導していた。再度、基本から立ち返り、指導していく必要がある。早急に改善し、保護者に安全安心な学校であると理解につなげることが望まれる。

「学校美化」

・特に児童の「教室や学校の美化」評価は、目標値を下回っている。子どもにとって望ましい環境の改善が早急に必要である。

・学校の施設改良点を精査するとともに、校舎や運動場の整備にあたることを望まれる。

・児童自身の「美化意識の向上」も重要であり、集団で取り組むことの大切さを一層指導していただければ、より楽しく学校生活を過ごせると期待する。

「学校全体」

・児童、保護者ともに「学園小に入学してよかった」と高い評価を維持している。「建学の精神」を土台とした私学の独自性を実践し継続することが、今後も高評価につながると考えられる。学園全体として重要なところである。

・制服の改善の要望も聞くが、LGBTに係わることであり、入学時から細やかに多様性の教育が必要である。保護者も学ぶべきであり、ましてや友達同士で受け入れ、理解させることが必要である。

# 令和4年度 学校経営計画及び学校評価

## 3. 本年度の取組内容及び自己評価

### 【学校全体】

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取り組み内容	評価指標	自己評価
1.(1) 選び抜いた内容の実践と改良	<p>1. 「指導要領プラス」をスローガンとしたカリキュラム・教材/教具を模索、実践しその効果を検証します。</p> <p>2. 1～6年生の英語カリキュラムと教材を開発、研究します。</p> <p>3. ICT教育の拡充にむけ、プログラミング教育とGIGA構想に基づいた教材を開発、研究します。</p> <p>4. 科学の学習内容を見直します。</p> <p>5. 社会科のカリキュラムを改善します。</p>	<p>1. 講師(指導助言者)を招聘して複数回の校内研究授業を計画実践し、今後の研究の深化に役立てます。</p> <p>2. 次回開催の公開授業研究会を視野に入れ、校内研究授業を計画実践し、今後の研究深化に役立ちます。</p> <p>3. 指導力向上をめざし、指導要領にプラスした独自性のある学習プログラム開発、授業力錬磨をめあてとした教員研修の参加を奨励します。</p> <p>4. オンライン授業やICT活用の指導法開発のため、研究部会を設置します。</p> <p>(指導力向上に関する教員自己評価を4.5以上)</p> <p>1. 英語専科と3名のネイティブ教員によるスパイラルな英語教育の実践します。</p> <p>2. 再編した1～6年生のカリキュラムと教材を、より充実させるために改善を加えます。</p> <p>3. 5・6年生の英語が教科になることに伴い、新たな教材や教授法を研究、開発します。各児童に英語学習機材をもたせ(シャープ英語辞書に入っているアプリ・ブレーン)、個別学習を実施します。</p> <p>4. 1～6年生まで通したモジュール学習の教材の指導法を検討します。</p> <p>5. 英語の教科化に対応した絶対評価(Can-Do Listに適應した)を導入します。</p> <p>6. 私立小学校連合会英語部会主催の「小学生レシテーションコンテスト」に参加します。</p> <p>1. 各教科研で、タブレットによる学習の方法や教材を研究、実践します。</p> <p>2. タブレットを用いたグループワークやペアワークの方法を研究します。</p> <p>3. アプリを使った、リモート学習の充実を図ります。</p> <p>4. ロイロノートを利用した授業を実施</p> <p>5. 始業式や終業式、職員会議など、機会を見つけてもズーム等を使い、職員がアプリを自由に使えるよう習熟を図ります。</p> <p>6. 感染防止に努めて、オンライン授業を実施します。</p> <p>1. プレゼンテーションを中心とした説明と、討論を要約するための黒板使用を組み合わせた、授業運営を研究します。</p> <p>2. 科学史の追体験に基づく科学教育の開発、実践します。(3年生以上)</p> <p>1. 独自のカリキュラム、「価値判断授業」を全学年に導入します。</p> <p>2. 社会科の体験型・独自プラン実施します。(3年生以上)</p> <p>3. 生活科の体験型・独自プラン実施します。(1,2年生)</p>	<p>指導力向上に関する教員自己評価を4.5以上にします。(令和3年度4.5)</p>	<p>(令和4年度自己評価と今後の方策) 教職員自己評価(平均): 分かりやすい授業の実践に努めている…4.5 前年度に引き続き、目標を達成しました。 引き続き石川晋氏(授業づくりネットワーク)、岩坂尚史氏(お茶の水大学附属小学校所属)、さらに今年度は、野澤智子氏(文芸研究)を招聘して、校内研修会で相互の授業を参観したり、授業実践したりしたことなどが効果的だったと思われま す。(4月野澤・6月岩坂・7月野澤・10月石川・11月岩坂、石川)</p>
1.(2) 学校行事の見直しと改良	1. 全校行事を改良します。	<p>保護者や児童の意見をもとに、体育会、秋まつり、音楽会などに改良を加えます。保護者と連携して子どもを育てます。(体育会・秋まつり・音楽会)また、新型コロナウイルス拡大防止措置のため、保護者と連携します。</p> <p>ヤングアメリカンズにかわる行事を検討します。</p> <p>「YOUNG AMERICANS」に代わり、「HEART GLOBAL」という新団体とじぶん未来クラブが協働し、検討します。</p>		

## 令和4年度 学校経営計画及び学校評価

<p>2.(1) 基本的な生活習慣の育成</p>	<p>2. 宿泊行事を見直します。</p> <p>1. 児童の自主性・主体性がより発揮できるよう、児童委員会・係活動・縦割り活動、行事の内容を再検討します。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止を念頭に置き、すべての宿泊行事を精査します。</p> <p>1. 修学旅行の充実を図るために、旅行先を含めた検討を行います。</p> <p>2. カントリーステイと臨海学校を検討し、これらの行事を通じて集団活動を意識させ、内容を充実させます。また、水泳授業の検討を行います。</p> <p>3. あたらしい行事「5年生ハーベストデイ」を実施します。</p> <p>1. 縦割り活動や児童会を通じて、児童自身が校内のマナー向上策を考えられるように活動形態を整備し、活性化を図ります。</p> <p>2. 児童会活動のシステムを、さらによきものになるように検討を加えます。特に児童会主催のボランティア活動を奨励します。</p>	<p>保護者、児童アンケートのうち、「行事は楽しく充実している」の評価を向上します。</p> <p>主体性に関する教員自己評価を4.4以上にします。(令和3年度4.4)</p> <p>保護者、児童アンケートのうち、「児童会活動や係活動をがんばっている」の評価を向上します。</p>	<p>保護者の評価は4.6、児童は4.8で、前年度より向上しました。新型コロナウイルス感染症により、体育会・音楽会・秋祭りなどを縮小しましたが、できる限りコロナ前に近づけたため、評価されたと考えます。宿泊行事については、修学旅行・自然学校・カントリーステイ・臨海学校・ハーベストステイ・スキーを実施しました。</p> <p>主体性に関する教員自己評価は4.4で目標を達成しました。</p> <p>児童会活動に関する評価は保護者が4.5(前年と同じ)児童が4.7(前年より向上)でした。今年度も新型コロナウイルス対応で縦割り活動を縮小しましたが、可能な限り実施できたことは評価に値すると考えます。</p>
	<p>2. 規律遵守の意識レベルの向上を図ります。</p>	<p>1. 言葉づかいと姿勢について、教員が範を示し児童が見倣うことのできる機会を積極的に増やします。年度末にマナーに関する自己評価の時間を設定し、フィードバックをうながします。</p> <p>2. 「自律の手助け」を念頭に置き、各家庭及び学級に配布する「しつけポスター」を指針として家庭と学校が協力し、指導を行います。</p> <p>3. 年度初めに各担任が「学校のきまり」を児童と保護者に説明し、理解と協力を求めます。</p> <p>4. マナー、しつけについての学期目標を定め、児童と教員に周知しその徹底を図ります。</p> <p>5. 職員が交代で毎土曜日に四条畷駅に行き、登下校のマナーの指導に当たります。</p> <p>6. 校外行事の日、校内に訪問者が来る日を『マナー実践の場』と児童に意識させ、実際の場に応用する機会を作ります。</p>	<p>マナー・モラルに関する教員自己評価を4.3以上にします。(令和3年度4.3)</p> <p>保護者、児童アンケートのうちしつけに関する3項目の平均(4.0以上)を維持します。</p>	<p>マナー・モラルに関する教員自己評価は4.2で目標に達しませんでした。さらに情報モラル教育に力をいれていきます。</p> <p>しつけに関する項目は、保護者が3.9児童が4.2で保護者が目標に達成しませんでした。学級間の格差があり、学校全体、学年会等で検討していく必要があると考えられます。次年度に向けてさらによりよい学校作りに努力します。</p>

## 令和4年度 学校経営計画及び学校評価

<p>2.(2)基礎学力の徹底</p>	<p>1 主体的・対話的な深い学びを实践します。</p> <p>2. 基礎学力の均一化を図ります。</p> <p>3. 教員の指導力向上をはかります。</p>	<p>1. 学年教科研究を研究の軸としてアクティブラーニングが機能するように教科内容を精選します。</p> <p>2. 高学年児童を中心として、タブレットで調べ学習ができるような指導を充実します。</p> <p>3. 児童相互の意見交換を軸とした学習を实践します。</p> <p>1. 「自らの考えを表現する力」を子供につけます。</p> <p>2. 「読む」「書く」の繰り返し練習により「話の要旨を的確に把握して、その内容を理解できる」ための基礎となる知識を増やします。</p> <p>3. 評価項目・評定の検討します。</p> <p>4. 統一確認テスト等の学力テストで、基準とする値に達していない児童を抽出し、学級担任および学年補助教員が対象児童の学力向上に努めます。</p> <p>5. 学力テスト対策委員会を立ち上げ、月1回基礎学力向上にむけた話し合いを持ち、外部学習評価テストを実施します。</p> <p>1. ICTを活用した学習の精選とタブレット等を活用した、個に応じた指導法の開発に努めます。</p> <p>2. 学年主任を中核としたOJTを推進し、若手教員の授業力や児童理解力、学級経営力の育成の日常化を図ります。</p> <p>3. 学年内でお互いに授業を公開し合い、授業力向上と学年内の指導方法の統一を図ります。</p> <p>4. 研究授業を増やし、相互の実践を対比することで指導力の向上を図ります。</p> <p>5. 重点目標に合致する研修、研究会に参加し、指導力向上を図ります。</p> <p>6. 外部講師を招聘し、研究授業で指導助言をおおぎ、教員の資質向上を図ります。</p>	<p>学力向上に関する教員自己評価を4.5以上にします。(令和3年度4.5)</p> <p>計画的な教員研修に関する教員自己評価を4.3以上にします。(令和3年度4.3)</p>	<p>学力向上に関する教員自己評価は4.5で目標を達成しました。学力テスト対策委員会を立ち上げ、検討した結果であると考えられます。</p> <p>計画的な教員研修の自己評価は4.4で目標を達成しました。今後も研修内容を全職員で共有できるような体制づくりに努めます。そして、私学としての特色作りと授業の運営法を学んでいきたいと考えています。</p>
---------------------	---	--	---	---

## 令和4年度 学校経営計画及び学校評価

### 3. 本年度の取組内容及び自己評価

#### 【人権・道徳】

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取り組み内容	評価指標	自己評価
3. 主体的な生き方の尊重	一人ひとりの興味関心を大切に、だれにも自信を持たせる教育を行います。道徳教育、人権教育を軸に、互いの個性を尊重しあえる土壌をつくります。	<p>1. 道徳教育の充実を図ります。週1回の道徳をアクティブラーニングの場と位置づけ「考える道徳」「学びあう道徳」を軸とした実践を行います。</p> <p>2. 人権尊重を目標にした授業のほか、体験型の講習会や社会見学、人権を意識した校外行事を実施し、人権意識の向上をはかります。</p> <p>3. いじめ等を防ぐために、各学年アンケートを行い、人権意識を育てます。(学年はじめと宿泊行事の前に実施)</p> <p>4. 日記や作文などをもとに、子ども同士の人間関係を推し量り、よりよい学校生活を送ることができる環境を整えます。</p> <p>5. 「学習の記録」及び「指導要録」に記載する個人内評価を検討し、実施します。</p>	人権意識向上に関する教員自己評価を4.3以上にします。(令和3年度4.3)	人権意識向上に関する教員の自己評価は4.2で目標に達しませんでした。さらに人権意識の向上をはかり、人権教育の「ねらい」をより明確にしたいと考えます。人権講演会や道徳的な行事についても継続して実施します。

## 令和4年度 学校経営計画及び学校評価

### 3. 本年度の取組内容及び自己評価

#### 【施設・設備】

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取り組み内容	評価指標	自己評価
4.教育環境の充実	学校の美化に全校で取り組みます。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 児童の自教室の美化意識を向上させることを、校内全体の美化意識向上につなげます。</li> <li>2. 児童に持ち物を自主的に整理整頓させ、担任は定期的に指導を行います。</li> <li>3. 児童会・美化委員会が企画立案する駅前清掃、校内清掃を実施し、縦割り編成による児童の美化意識向上につなげます。</li> <li>4. 老朽化した設備を修理、改修し、校内の安全性と美化を向上します。(体育館・教室・特別教室・廊下)</li> <li>5. 小学校特別教室、プール、遊具などの建て替えに伴うあらたなルール設定を検討し、計画します。</li> <li>6. 遊具を再検討し、配置を計画します。</li> <li>7. 学校美化のポスターを作成します。</li> <li>8. 新型コロナウイルス拡大防止措置を実施します。</li> </ol>	<p>美化に関する教職員の自己評価を4.2以上にします。(令和3年度4.2)</p> <p>保護者、児童アンケートのうち、「校内の施設、設備は充実している」の評価を向上します。</p>	<p>美化に関する教職員の自己評価は4.1で、目標に達成しませんでした。教員間の美化意識のばらつきを縮める手だてを検討していきます。</p> <p>校内施設、設備の充実に関する保護者の評価は4.1で前年と同じ、児童の評価も4.3で前年と同じでした。来年度は、老朽化した設備を修理、改修する必要があると考えられます。</p>

# 令和4年度 学校経営計画及び学校評価

## 3. 本年度の取組内容及び自己評価

【環境】

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取り組み内容	評価指標	自己評価
5 安心、安全な学校づくり	<p>1. 児童の生命を守るために、対策をたて取り組みます。</p> <p>2. 児童の安全に対する意識を向上させるため、特別活動や道徳の時間を使って教育を行います。</p> <p>3. 防災対策を強化します。</p>	<p>1. 一般防災に関する対策</p> <p>(1) 防災マニュアルに沿った避難訓練、マニュアルの検討を行います。</p> <p>(2) マニュアルが機能するよう、避難通路や防災用具の定期的な点検します。</p> <p>(3) 大阪880万人訓練に参加し、防災意識の向上を図ります。</p> <p>(4) 緊急集団下校マニュアルの改善、円滑な保護者への引き渡しを目的とした訓練の実施と緊急時の一斉配信システムを整備します。(ミマモルメ使用)</p> <p>(5) 宿泊を伴う校外行事では、最初に避難経路を児童に知らせ、必要に応じて避難訓練を行います。 (臨海学校・自然学校) 自衛消防業務のテキストに沿った図上訓練の実施します。</p> <p>2. 不審者等の危機管理</p> <p>(1) 不審者対策危機管理マニュアルにそって危機レベルごとの迅速な対応ができるよう、職員の訓練を行います。</p> <p>(2) 不審者対策として、校内に防犯カメラを設置し、児童の安全確保をよりいっそう強化します。</p> <p>(3) 不審者対策危機管理マニュアルを作成し、児童に危害が及ぶ危険性を段階的に設定します。</p> <p>(4) 地域集会で各地域の危険な箇所を選び、詳細な指導を行います。</p> <p>1. 「自分のいのちは自分で守る」意識を徹底させ、教職員とともに臨機応変に避難できる子どもを育てます。</p> <p>2. 外部組織と連携し、安全意識向上のための教育を行います(四條畷警察による安全教室、NTTによる安全モラル教室 大阪府少年サポートセンターによる非行防止教室 大阪府警による非行防止教室等)。</p> <p>3. 高所からの転落や、頭部の打撲時など緊急を要する校内事故に遭遇した場合のマニュアルを再検討し、周知します。</p> <p>4. 新型コロナウイルス拡大防止対策を強化します。</p> <p>1. 火災、地震等の防災係を組織します。</p> <p>2. 防災マニュアルを作成し、マニュアルに沿った避難訓練を実施します。</p> <p>3. 地域集会で、各地域に即した防災指導を行います。</p>	<p>「防災や安全に関する指導」の教員自己評価を4.2以上にします。 (令和3月年度4.2)</p>	<p>防災や安全に関する指導に努めている…4.2</p> <p>衛生的で健康な生活の知識技能の指導に努めている…4.0</p> <p>緊急時のマニュアル整備や登下校 チェックや防災訓練など、安全対策を十分とっている…4.4</p> <p>防災に関する職員の自己評価である、安全対策に関する項目についての項目、防災訓練の対策の項目については、目標に達しました。</p> <p>しかし、健康な生活に関する指導については目標に達しませんでした。</p> <p>さらに防災係を中心として、児童への防災指導内容を再検討します。具体的には、宿泊行事での避難訓練・不審者の避難訓練・火災、地震等の避難訓練を検討します。</p>



## 令和4年度 学校経営計画及び学校評価

### 3. 本年度の取組内容及び自己評価

#### 【募集】

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取り組み内容	評価指標	自己評価
6. 内部連携を強化し募集活動を充実	幼稚園・中学校との連携を強化し募集活動を充実します。	<p>幼稚園との連携</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>連絡会・協議会などを通じ教師間の相互理解と交流を深めます。</li> <li>保護者対象の公開授業や説明会を実施します。</li> <li>幼稚園の連携を強化し、内部進学数の増加に努めます。</li> <li>児童による園児との交流の場を設け、小学校の取り組みが園児に伝わる機会を増やします(本読み、もの作り、音楽交流)。</li> <li>在園児が兄弟関係である保護者への内部進学の見学指導を強化します。</li> <li>幼稚園教員へ小学校の魅力を伝え、幼稚園保護者に伝達してもらう手立てを検討します。</li> </ol> <p>中学校との連携</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>連絡会・協議会などを通じ教師間の相互理解と交流を深めます。</li> <li>中学校の連携を強化し、内部進学数の増加に努めます。</li> <li>内部進学の見学指導を強化します。</li> <li>クラブ体験や授業体験を設け、中学の活動が小学生に分かる機会を増やします。(運動クラブ体験、文化クラブ体験、理科授業体験、中学出前授業)</li> </ol> <p>募集活動を検討します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>児童募集活動の課題を抽出し、その対策を検討します。</li> <li>入学を検討している保護者に対する、校内外入試説明会・塾説明会・体験授業の方法を検討します。</li> <li>広報媒介を検討します。</li> <li>私学展等の公開説明会での説明方法を改善します。</li> <li>外部幼稚園への広報活動を拡充し、希望する園で説明会を実施します。</li> <li>学校見学会を実施します。</li> </ol>	<p>令和4年度は、幼稚園からの内部進学者は32名でした。</p> <p>令和4年度は、内部進学者45名以上を目標とします。</p> <p>令和4年度は、中学内部進学者65名(67%)でした。(98名中)</p> <p>令和4年度は、部進学者70%以上を目標とします。</p> <p>令和4年度は入学者81名でした(12月現在)。</p> <p>令和4年度は集定員充足90名以上に努めます。</p>	<p>令和4年度は、幼稚園からの内部進学者は32名でした。(令和5年度入学者)</p> <p>令和5年度は、内部進学者45名以上を目標とします。</p> <p>令和4年度は、中学内部進学者65名(67%)でした。(98名中)(令和5年度入学者)</p> <p>令和5年度は、内部進学者70%以上を目標とします。</p> <p>令和4年度は入学者80名でした。(令和5年度入学者)(2月現在)</p> <p>令和5年度は集定員充足90名以上に努めます。</p> <p>大阪府の私立小学校(17校)のひとつとして、建学の精神に基づき、個性的で特色のある教育を進めていきます。</p>